

---

## 公共施設適正配置シンポジウムを開催しました。

---

更新日:2016年12月01日

### 公共施設適正配置シンポジウム

「これからの公共施設を考える。」を開催しました。

#### 開催趣旨



東広島市には市の所有する公共施設が772あり、その多くが昭和50年代後半からバブル経済期にかけて建築されています。これらの施設が、老朽化の進行に伴い集中して建て替えや改修といった更新の時期を迎えつつあり、長期的には人口減少が予測される中で、全てを維持していくことは財政的な面からも困難な状況です。

そこで、現状と課題を明らかにしつつ、市民の皆様とこの問題に対する認識の共有を図り、現在から未来に向けて、本当に必要な公共施設とは何かをともに考えていききっかけとするために、シンポジウムを開催しました。

#### 概要

#### 開催日

---

平成 26 年 11 月 21 日 金曜日

## 時間

---

13 時 30 分から 16 時まで

## 会場

---

東広島市市民文化センター 3 階 アザレアホール

## 来場者数

---

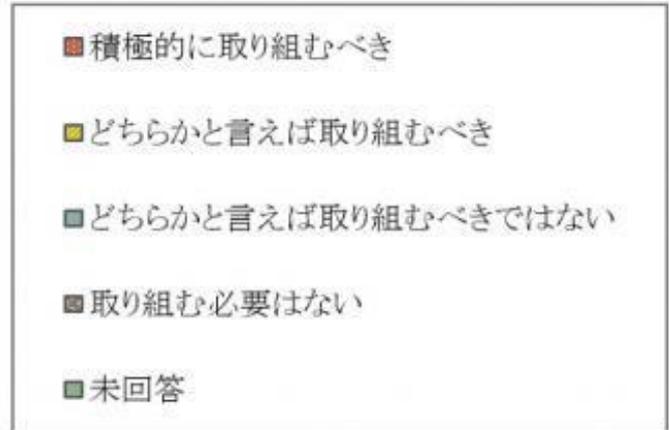
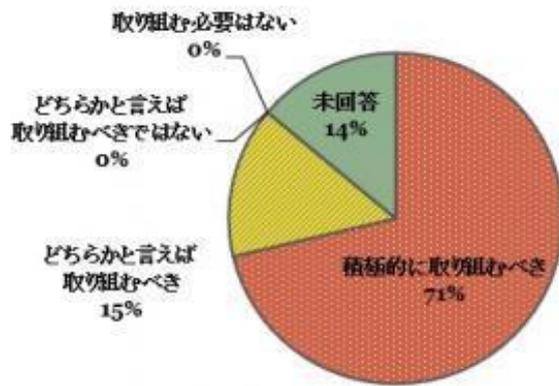
160 人



## 来場者アンケート

当日のアンケート集計結果をまとめました。アンケートは 160 人中 115 人から回答がありました。

全体の 71%から「積極的に取り組むべき」、15%から「どちらかと言えば取り組むべき」との回答がありました。未回答を除けば、全員から「取り組むべき」という回答があり、本シンポジウムを通じて、多くの方に公共施設の適正配置の趣旨をご理解いただけたと考えています。



## プログラム

### 基調講演「秦野市における公共施設更新問題への挑戦」

---

#### 講師

---

秦野市 政策部公共施設再配置推進課 課長兼課長補佐 志村 高史氏



公共施設の更新問題に対応するために、全国に先駆けて作成した公共施設白書や、公有財産の有効活用などの事例をもとに、問題の解決に向けた取り組みの必要性について紹介していただきました。

志村氏自身の体験を交えつつ、緻密なデータを積み上げた講演が好評で、公共施設更新問題について秦野市と東広島市を比較した説明がわかりやすかった、共感できる部分が多かった、といった感想をいただきました。

## 基調報告「ファシリティマネジメントの現状について」

---

### 講師

---

首都大学東京 都市環境学部戦略研究センター 特任教授 山本康友氏



限られた予算で公共施設を維持していくために、近年注目を集めているファシリティマネジメントについて、基本的な考え方や、全国の自治体で導入されつつある現状を紹介していただきました。

ファシリティマネジメントの必要性について理解できた、人口減少に伴う公共施設のあり方・活用方法等が大きな課題であることがよくわかった、といった意見をいただきました。

パネルディスカッション「東広島市における公共施設マネジメントのあり方について」

パネルディスカッション出演者

役割:コーディネーター

氏名:山本康友氏



役割:パネリスト

氏名:住民自治協議会「四季の里宇山」会長 高橋昭安氏



役割:パネリスト

氏名:倉敷市 財産活用課 主幹 三宅香織氏



役割: パネリスト

氏名: 東広島市長 藏田義雄

